

SIMI

社会的インパクト・マネジメント・イニシアチブ

Social Impact Management Initiative

VBA Japan Practitioner Group

VBA実務者グループ

一般社団法人社会的インパクト・マネジメント・イニシアティブ（SIMI）は、2024年9月にValue Balancing Alliance（VBA）と提携覚書を締結し、日本における「インパクト会計」の理解促進と議論の活性化を目指すパートナーシップを開始しました。この提携を契機として、SIMIは実務者によるグループ「VBA Japan Practitioner Group（VBA実務者グループ）」を立ち上げ、VBAによる継続的なレクチャーを通じて最新の知見を学ぶとともに、SIDのセッションや各種セミナーを通じて、日本国内における情報発信や理解促進に取り組んでいます。

VBA Japan Practitioner Group アドバイザー



渋澤 健 氏

シブサワ・アンド・カンパニー株式会社代表取締役、コモンズ投信株式会社取締役会長
他に、株式会社&Capital代表取締役CEO。ブランズウィック・グループシニアアドバイザー、株式会社 九州フィナンシャルグループ取締役、株式会社セブン銀行取締役、経済同友会幹事および中東・アフリカ委員会共同委員長。
「新しい資本主義実現会議」、「サステナブルファイナンス有識会議」等複数の政府系委員会に所属。GSG Impact Japan 委員長、インパクト・コンソーシアム副会長、Triple I for Global Health共同チア、東京大学総長室アドバイザー、等。



柳 良平 氏

アビームコンサルティング株式会社 エグゼクティブアドバイザー
博士（経済学）京都大学。早稲田大学大学院会計研究科客員教授。M&Gインベストメンツジャパン株式会社副社長。公職として東京証券取引所上場制度整備懇談会委員、G7インパクト・タスクフォース2021委員等を務める。職歴としては、銀行支店長、メーカーIR・財務部長、UBS証券エグゼクティブディレクター、エーザイ専務執行役CFO等を経て現職。早稲田大学客員教授として10年以上大学院で教壇に立つ。Institutional Investor誌の2016、2017、2019年、2020年、2022年の世界の機関投資家投票でヘルスケアセクターのCFO第1位The Best CFOに選出される。米国公認管理会計士（USCMA）。米国公認財務管理士（USCFM）。

VBA Japan Practitioner Group メンバー



五十嵐 剛志 氏

公認会計士

慶應義塾大学経済学部卒業、英國オックスフォード大学経営学修士（MBA）。PwCあらた有限責任監査法人、内閣府、米国ハーバードビジネススクールImpact-weighted Accounts Initiative、英国政府系インパクト投資ファンドBig Society Capitalを経てKIBOW社会投資ファンド。社会課題解決のためのファイナンスに関する調査、研修、政策企画、投資実務に従事。Accountability for Change創設者。元Teach For Japan最高財務責任者。インパクトスタートアップ協会監事。



伊藤 枝里子 氏

特定非営利活動法人ソーシャルバリュージャパン フェロー

大学卒業後、東京の中間支援組織NPO法人ETIC.に参画。外資系企業CSRや官公庁と協働した複数の事業の立ち上げに6年に渡り携わる。その後、ソーシャルバリュージャパンにて社会的インパクトマネジメントのコンサルタント兼事務局長として従事、同時に社会的インパクトマネジメントの普及を目指す一般財団法人社会的インパクト・マネジメント・イニシアチブ（SIMI）の立ち上げと事務局長に就任。2023年に娘とともにマレーシアに教育移住。日馬を行き来しながらアジアの社会的企業に関わっている。Sunway大学Sustainable Development Management修士号取得。国連開発計（UNDP）認証のSDGインパクト基準研修認定講師。

VBA Japan Practitioner Group メンバー

中野 浩志 氏



SAPジャパン株式会社カスタマーアドバイザリー統括本部

大手精密機械メーカーにて、輸出・外為業務、海外営業、海外現地法人立ち上げと同社ERP導入及び事業管理・財務経理マネジメントを担当。1998年にSAP入社後は、ERP(ファイナンス)導入コンサルタントとして大手製造業、総合商社プロジェクトを担当し、ファイナンスソリューションマネージャーなどを経て現在は経営管理・経理財務領域のデジタル変革を支援するシニアプリンシパル。日本CFO協会主任研究委員、早稲田大学大学院非常勤講師、公認内部監査人(CIA)、公認情報システム監査人(CISA)、公認不正検査士(CFE)、米国公認会計士全科目合格。

秦 雅弘 氏



GLIN Impact Capital代表パートナー

三菱商事にて事業投資に従事した後、ハーバードビジネススクールでインパクト投資を学び、GLIN Impact Capitalを共同創業。国内第一世代のインパクト投資家として活動する傍ら、インパクト志向金融宣言VC分科会座長や、国内外のインパクト投資推進組織の委員を歴任し、エコシステムの普及・発展にも尽力している。

VBA Japan Practitioner Group メンバー



松山 将之 氏

日本政策投資銀行 主任研究員

博士（経営管理）、武蔵野大学客員教授。主な研究テーマは、金融機関における非財務情報の活用。住友信託銀行（現・三井住友信託銀行）を経て2008年に入行、2013年より現職。インパクトファイナンスの裾野拡大を目的とした活動にも積極的に取組む。具体的には、『社会を変える インパクト投資』（北川哲雄・加藤晃監訳、同文館出版、2021年）の翻訳の一部を担当、GSG・金融庁共催研究会の分科会座長として「デットにおけるインパクトファイナンスの考え方とインパクト測定・マネジメントガイダンス」（2023年）の策定に携わる。2024年からインパクト志向金融宣言のアドバイザーに就任。また、学術・政策面での知見発信にも注力しており、金融庁金融研究センター特別研究員（2022年-2023年）在任中には林寿和氏との共同研究として2編のディスカッション・ペーパーを発表。金融庁インパクトコンソーシアムにおいては、データ・指標分科会（第1期）のディスカッションメンバーとして議論に参画、我が国におけるインパクトファイナンスに対する理解の深化と制度設計の発展にも関わってきた。

VBA Japan Practitioner Group ナビゲーター

今田 克司



一般財団法人社会的インパクト・マネジメント・イニシアチブ 代表理事、株式会社ブルー・マーブル・ジャパン 代表取締役

米国（6年）、南アフリカ（5年半）含め、国内外で市民社会強化の分野でのNPOマネジメント歴25年。2013年帰国後、セクターを超えてインパクト・マネジメントの普及に力を入れている。現在ほかに、（株）ブルー・マーブル・ジャパン代表取締役、（一財）CSOネットワーク常務理事を兼任するほか、（特活）日本評価学会副会長・研修委員長、休眠預金等活用法における指定活用団体である日本民間公益活動連携機構（JANPIA）評価アドバイザー、国際協力機構（JICA）事業評価外部有識者委員会委員、インパクト・コンソーシアム データ指標分科会座長等。2022年8月より国連開発計画（UNDP）SDGインパクト基準（企業・事業体版）研修認定トレーナー。

高木 麻美



一般財団法人社会的インパクト・マネジメント・イニシアチブ 業務執行理事、株式会社Stem for Leaves 代表取締役
多様な業種における全社戦略・部門別戦略の策定・実行支援のほか、新規事業立ち上げ支援、M&A、企業再生等の実績を有する。公共セクターに対しては、調査研究や事業実施支援の経験を有し、近年はインパクトの可視化やデータ活用に注力している。PwCコンサルティング、ベイン・アンド・カンパニー、三菱UFJリサーチ＆コンサルティング、EY新日本有限責任監査法人を経て（株）Stem for Leavesを設立し、代表取締役に就任、現在に至る。多摩大学社会的投資研究所客員研究員。早稲田大学政治経済学部卒業。ワシントン大学行政経営大学院修士課程修了（MPA）。

VBA Japan Practitioner Group ナビゲーター

ガイガー 敦子



一般財団法人社会的インパクト・マネジメント・イニシアチブ コーディネーター、アメリカン・フレンズ・オブ・アイハウス (AFIHJ) Managing Director of Operations and Programs
米国法人日本国際交流センター (JCIE/USA) にて、プログラム・オフィサー、オペレーション・ディレクター、フェローなどを歴任し、日米政治交流、政策研究、フィランソロピー支援など国際的な政策対話の促進や市民社会の強化に寄与する事業を幅広く担当。国連開発計画 (UNDP) アラブ局にてコーディネーターとして、アラブ連盟との協働事業でプロジェクトリードをつとめた後、コンサルタントとしての活動を経て、現職。米国デラウェア大学にて政治学博士号取得。